

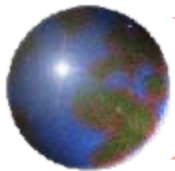
ICANNソウル会合 政府諮問委員会報告 (平成21年10月25日～30日)

平成21年12月17日

総務省

データ通信課企画官

中沢 淳一



政府諮問委員会 (GAC) の概要 (1)

● GACの活動

- ICANNの活動に関し、次の事項について政府の立場から検討、ICANN理事会に対して助言
 - － 公共政策課題に関する事項
 - － ICANNポリシーと各国国内法、国際協定との間で相互に関係がある事項
- ICANNの理事会はポリシーの制定、採択においてGACの助言をしかるべく考慮しなければならない

● GACメンバー構成

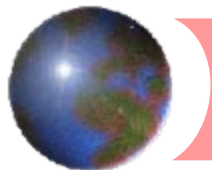
- 現在、109の国・地域の政府及び13国際機関(オブザーバ)で構成
- ソウル会合には58の国・地域の政府(そのうち2国がリモート)、3国際機関及び1招待国が参加
- 日本からは総務省が代表として参加



政府諮問委員会 (GAC) の概要 (2)

● ソウル会合での主要議題

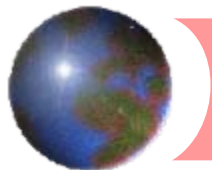
- (1) IDN ccTLD (国別トップレベルドメイン名の多国文字表記)
- (2) 新gTLD (分野別トップレベルドメイン) の導入
- (3) AoC
- (4) その他



ソウル会合結果概要（1）

（1） IDN ccTLD（国別トップレベルドメイン名の多国文字表記）

- ICANNでは、国別トップレベルドメイン名（ccTLD）にアルファベット（「.jp」）だけでなく、各国で使われている文字（例えば「.日本」）の利用が可能となるよう検討を進めてきた。
- 今回、ICANN理事会（30日）においてIDN ccTLD実装計画が承認され、本年11月16日からIDN ccTLDの申請受付を開始することとされた。
- GAC会合では、ロシア、日本、中国がIDN ccTLDを申請することを表明した。
なお、紛らわしい文字（variant）や1文字の文字列の取扱いについては引き続き解決すべき事項であり、ICANNにおいて早急に検討するよう理事会に助言した。



ソウル会合結果概要（2）

（2）新gTLD（分野別トップレベルドメイン）導入

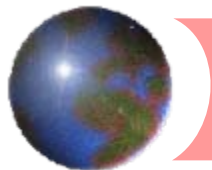
- ICANNでは、現在20ある「.com」等分野別トップレベルドメイン（gTLD）の拡充を図ることとしており、そのための申請ガイドブック案を策定中であり（初版は昨年10月に策定）、本年10月に第三版が公表されている。

- GAC会合では、ルートサーバのセキュリティと安定性の更なる検討の必要性、gTLDのカテゴリーによって申請手続・処理を変える必要性、地理的名称に関する国の利益や主権の尊重の必要性等が指摘され、それらを理事会に助言した。

ただし、申請ガイドブック案第三版のパブリックコメント募集が本年11月22日までとなっていることを考慮し、今会合では詳細なコメントは行わず、次回会合で包括的にコメントすることとした。

- ICANN事務局からは、第三版へのコメントを踏まえ、第四版が公表されるとの発言があったが、これを含め、今後のスケジュールは提示されなかった。

新gTLDの導入については、これまでも開始時期が遅れ、前回シドニー会合では2010年第一四半期の申請受付開始が見込まれていたが、更に遅れる見通しである。

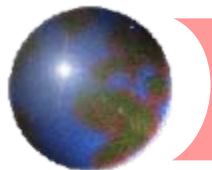


ソウル会合結果概要（3）

（2）新gTLD（分野別トップレベルドメイン）導入（続き）

新gTLD申請ガイドブック案第三版に対するGAC助言（概要）：

- ① ルートサーバの拡張に関する最新の報告で明らかになったセキュリティと安定性の問題について十分に考慮する必要があること
- ② コスト、利益、市場への影響に関するコミュニティの理解を高めるための更なる経済分析が重要であること
- ③ 知的財産権の保護をより効果的なものにする必要があること
- ④ レジストリとレジストラの分離、DNS市場における競争への影響についてコミュニティ内で議論が進行中であること
- ⑤ カテゴリーによって異なる申請手続・処理について研究する必要があること
- ⑥ 地理的な意味をもつ文字列に関する国の利益や主権を尊重する必要があること
- ⑦ 財政的・技術的なリソースの限られる途上国への支援をする必要があること



ソウル会合結果概要（4）

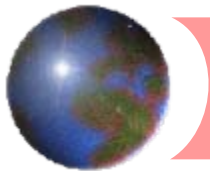
(3) AoC

- GACとして、本年9月30日に米国政府とICANNとの間で新たに合意されたAffirmation of Commitment (AoC)をDNSの発展と将来における前進(positive step)として歓迎
- AoCに従い設置されるレビューチームにおいてGACが重要な役割を担っていることへの認識
- 最初のレビューまでの日程がタイトであることから、早期にその方法を確立することを助言するとともに、別途コメントすることとした。

【参考】AoCについて: 1998年10月、米国政府とICANNは、DNSの技術的調整及び管理を民間へ移行するため、ICANNの責務等を定めたMoUに署名。数次の改訂後、2006年9月に共同プロジェクト合意(JPA)へ移行。

【理事会・GAC合同ワーキンググループ(JWG)】: 前回シドニー会合(6月)で設置が承認

- 今回、Terms of Referenceを採択。
 - ① 理事会へのGAC助言の在り方
 - ② 理事会や他の支持組織・諮問委員会(SO/AC)等へのリエゾン
 - ③ ICANN事務局のサポート
 - ④ 政策決定プロセスにおける理事会やコミュニティとの早期の連携等 について検討
- 次々回(平成22年6月)会合での報告書とりまとめに向けて引き続き検討を行う。



ソウル会合結果概要（5）

（4） その他

- GAC副議長（任期1年、3名）について、
Mr. Jayantha Fernando（スリランカ、再選）
Ms. Maimouna Diop Diagne（セネガル）
Ms. Heather Dryden（カナダ）
が選出された。次回会合の終了後、交代となる。